

## 平成23年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月8日

上場取引所 大

上場会社名 サムコ 株式会社

コード番号 6387 URL <http://www.samco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 辻 理

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部門統括部長

(氏名) 田井 彰

TEL 075-621-7841

四半期報告書提出予定日 平成22年12月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年7月期第1四半期の業績(平成22年8月1日～平成22年10月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年7月期第1四半期	1,210	85.3	214	—	172	—	99	—
22年7月期第1四半期	653	△46.3	△62	—	△78	—	△47	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年7月期第1四半期	16.94	—
22年7月期第1四半期	△8.07	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年7月期第1四半期	8,708	6,150	70.6	1,048.90
22年7月期	8,524	6,138	72.0	1,046.84

(参考) 自己資本 23年7月期第1四半期 6,150百万円 22年7月期 6,138百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年7月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年7月期	—	—	—	—	—
23年7月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年7月期の業績予想(平成22年8月1日～平成23年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,850	50.5	495	210.3	490	268.6	290	278.5	49.45
通期	6,000	40.3	1,060	128.8	1,050	154.6	625	152.4	106.59

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年7月期1Q 5,869,068株 22年7月期 5,869,068株

② 期末自己株式数 23年7月期1Q 5,261株 22年7月期 5,261株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年7月期1Q 5,863,807株 22年7月期1Q 5,864,569株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想の前提条件その他に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期の業績等に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
4. 補足情報 .....	11
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、新興国の経済発展を受けて緩やかな回復傾向にあるものの、円高やデフレの進行により先行き不透明な中で推移いたしました。

当社を取り巻く半導体等電子部品業界では、前期に液晶テレビのバックライト用途で需要を急拡大させたLED(Light Emitting Diode=発光ダイオード)で一時的な生産調整がありましたが、照明用途の需要が加わり、特に中国で積極的な設備投資が行われました。国内においても環境貢献型デバイスとしてのLEDへの期待は高く、関連の設備投資が行われました。

このような状況の下、当社では前期末の受注残高1,819百万円を受けての好スタートとなり、引き続きLEDの増産に対応した生産用途向け装置の受注獲得に努めました。当第1四半期の受注高は、生産調整の影響により1,227百万円(前年同期比22.7%減)となりましたが、当第1四半期末の受注残高は前期末を上回る1,837百万円(前年同期比38.6%増)となりました。また、輸出販売高は698百万円(前年同期比213.0%増)で輸出割合は57.7%となり、国内販売高は512百万円(前年同期比19.1%増)となりました。

以上の結果、当第1四半期会計期間における業績は、売上高が中国向け輸出で工場建設の遅れによる出荷のずれ込みがありましたが、前年同期比大幅増の1,210百万円(前年同期比85.3%増)となりました。経常利益は172百万円(前年同期は経常損失78百万円)となり、売上高経常利益率は14.2%となりました。四半期純利益は99百万円(前年同期は四半期純損失47百万円)となりました。

## (品目別売上高)

品 目	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
CVD装置	287,500	23.8	259.9
エッチング装置	656,880	54.3	47.8
洗浄装置	126,525	10.4	193.4
その他装置	—	—	—
その他	139,411	11.5	63.0
合計	1,210,316	100.0	85.3

## (用途別売上高)

用 途	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
オプトエレクトロニクス分野	935,456	77.3	95.2
電子部品分野	29,730	2.5	△30.3
シリコン分野	—	—	—
実装・表面処理分野	27,660	2.3	22.9
表示デバイス分野	—	—	—
その他分野	78,059	6.4	356.0
部品・メンテナンス	139,411	11.5	63.0
合計	1,210,316	100.0	85.3

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 当第1四半期末の資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、5,289百万円で前期末に比べ172百万円増加いたしました。たな卸資産が210百万円、売上債権が195百万円増加した一方、現金及び預金が228百万円減少いたしました。

## (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、3,418百万円で前期末に比べ10百万円増加いたしました。

## (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,915百万円で前期末に比べ173百万円増加いたしました。

買掛金が161百万円増加したのが主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、641百万円で前期末に比べ2百万円減少いたしました。退職給付引当金が5百万円増加した一方、長期借入金が9百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、6,150百万円で前期末に比べ12百万円増加いたしました。自己資本比率は70.6%と前期末比1.4ポイント低下いたしました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、仕入債務の増加161百万円、税引前四半期純利益が172百万円(前年同期は税引前四半期純損失78百万円)がプラスに寄与した一方、たな卸資産の増加210百万円、売上債権の増加195百万円、法人税等の支払96百万円、配当金の支払87百万円などにより、資金残高は前期末に比べ229百万円減少し、当第1四半期会計期間末には1,420百万円(前期末比13.9%減)となりました。当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は65百万円(前年同期に使用した資金155百万円)となりました。これは主に仕入債務の増加が161百万円、税引前四半期純利益が172百万円であった一方、たな卸資産の増加が210百万円、売上債権の増加が195百万円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は28百万円(前年同期に使用した資金6百万円)となりました。その主な内容は定期預金の預入による支出1,447百万円、有形固定資産の取得による支出25百万円に対して、定期預金の払戻による収入が1,444百万円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は98百万円(前年同期に使用した資金88百万円)となりました。これは主に配当金の支払額が87百万円であったことによるものです。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年7月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、平成22年9月10日に発表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想数値に変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ① たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

##### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

##### ③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示してしております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,139,673	3,368,357
受取手形	93,598	70,666
売掛金	1,234,368	1,062,002
製品	123,848	6,685
仕掛品	552,585	472,801
原材料及び貯蔵品	83,076	69,050
前払費用	14,098	8,375
繰延税金資産	25,809	25,809
未収消費税等	18,730	28,887
未収還付法人税等	15	15
その他	3,723	4,436
貸倒引当金	△132	△112
流動資産合計	5,289,395	5,116,977

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物	848,644	844,487
減価償却累計額	△449,724	△442,156
建物(純額)	398,919	402,330
構築物	25,314	25,314
減価償却累計額	△19,099	△18,773
構築物(純額)	6,215	6,541
機械及び装置	408,880	373,575
減価償却累計額	△357,885	△351,170
機械及び装置(純額)	50,995	22,404
車両運搬具	42,228	42,228
減価償却累計額	△32,396	△31,286
車両運搬具(純額)	9,832	10,942
工具、器具及び備品	155,672	149,586
減価償却累計額	△135,459	△133,683
工具、器具及び備品(純額)	20,213	15,902
土地	2,530,836	2,530,836
リース資産	11,235	11,235
減価償却累計額	△2,605	△2,072
リース資産(純額)	8,629	9,162
建設仮勘定	23,743	39,862
有形固定資産合計	3,049,385	3,037,983
<b>無形固定資産</b>		
特許権	9,962	11,107
電話加入権	2,962	2,962
ソフトウェア	4,357	4,853
水道施設利用権	3,449	3,519
リース資産	4,170	4,425
無形固定資産合計	24,902	26,868
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	23,571	21,609
関係会社株式	20,080	20,080
出資金	5,000	5,000
従業員に対する長期貸付金	30	75
繰延税金資産	206,882	207,315
差入保証金	59,541	59,550
保険積立金	29,326	29,322
投資その他の資産合計	344,431	342,952
<b>固定資産合計</b>	<b>3,418,720</b>	<b>3,407,804</b>
<b>資産合計</b>	<b>8,708,115</b>	<b>8,524,782</b>

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年10月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	796,038	634,505
短期借入金	800,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
リース債務	3,153	3,153
未払金	61,842	60,521
未払法人税等	77,833	106,245
未払費用	30,534	29,127
前受金	7,685	—
預り金	24,994	22,125
賞与引当金	47,136	20,400
役員賞与引当金	—	6,300
製品保証引当金	15,500	13,700
設備関係未払金	10,882	6,060
流動負債合計	1,915,596	1,742,136
固定負債		
長期借入金	126,674	136,673
リース債務	9,646	10,434
長期未払金	482	521
退職給付引当金	206,285	200,559
役員退職慰労引当金	298,882	295,945
固定負債合計	641,970	644,133
負債合計	2,557,567	2,386,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,213,787	1,213,787
資本剰余金		
資本準備金	1,629,587	1,629,587
資本剰余金合計	1,629,587	1,629,587
利益剰余金		
利益準備金	59,500	59,500
その他利益剰余金		
別途積立金	2,847,000	2,607,000
繰越利益剰余金	407,741	636,339
利益剰余金合計	3,314,241	3,302,839
自己株式	△7,603	△7,603
株主資本合計	6,150,012	6,138,610
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	535	△98
評価・換算差額等合計	535	△98
純資産合計	6,150,548	6,138,512
負債純資産合計	8,708,115	8,524,782

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)
売上高	653,013	1,210,316
売上原価	388,533	630,701
売上総利益	264,479	579,615
販売費及び一般管理費	327,030	365,527
営業利益又は営業損失(△)	△62,550	214,087
営業外収益		
受取利息	3,295	1,363
雑収入	292	490
営業外収益合計	3,587	1,853
営業外費用		
支払利息	2,400	2,502
為替差損	17,348	40,905
雑損失	29	64
営業外費用合計	19,778	43,472
経常利益又は経常損失(△)	△78,742	172,469
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△78,742	172,469
法人税等	△31,410	73,109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,332	99,359

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年8月1日 至 平成21年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△78,742	172,469
減価償却費	17,898	20,451
受取利息及び受取配当金	△3,295	△1,363
支払利息	2,400	2,502
為替差損益(△は益)	17,107	38,173
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,798	26,736
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,200	△6,300
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△2,300	1,800
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,411	5,726
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,937	2,937
売上債権の増減額(△は増加)	△85,809	△195,298
たな卸資産の増減額(△は増加)	△126,634	△210,971
仕入債務の増減額(△は減少)	144,949	161,533
未払費用の増減額(△は減少)	1,224	1,325
前受金の増減額(△は減少)	18,826	7,685
預り金の増減額(△は減少)	5,378	2,868
その他	△90,222	1,525
小計	△152,271	31,799
利息及び配当金の受取額	3,295	1,363
利息の支払額	△2,298	△2,510
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△3,730	△96,493
営業活動によるキャッシュ・フロー	△155,005	△65,840
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,445,035	△1,447,892
定期預金の払戻による収入	1,440,186	1,444,931
有形固定資産の取得による支出	△538	△25,077
投資有価証券の取得による支出	△896	△896
その他	△703	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,987	△28,887
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△9,999
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△87,968	△87,957
その他	△143	△788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△88,180	△98,744
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,864	△36,145
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△266,038	△229,616
現金及び現金同等物の期首残高	1,437,856	1,650,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,171,818	1,420,390

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、半導体等電子部品製造装置の製造及び販売事業の単一セグメントであるため、生産、受注及び販売の状況につきましては、当社の品目別及び地域別に記載しております。

## ① 生産実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
CVD装置	238,899	26.5	351,842	25.6	1,358,886	28.3
エッチング装置	490,250	54.5	729,175	53.0	2,567,830	53.5
洗浄装置	69,775	7.8	131,635	9.6	332,093	6.9
その他装置	—	—	8,167	0.6	9,843	0.2
その他	100,985	11.2	154,162	11.2	535,579	11.1
合計	899,910	100.0	1,374,982	100.0	4,804,233	100.0

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

## ② 受注実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	受注高	受注残	受注高	受注残	受注高	受注残
CVD装置	560,886	511,006	327,500	658,500	1,732,614	618,500
エッチング装置	889,809	760,920	649,333	1,029,897	3,065,152	1,037,444
洗浄装置	51,276	18,750	88,555	65,760	403,012	103,730
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	85,737	35,034	162,279	83,122	505,943	60,253
合計	1,587,709	1,325,711	1,227,668	1,837,279	5,706,722	1,819,927

(注) 1. 金額は販売価格によっております。

2. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

## ③ 販売実績

(単位：千円)

区分 (品目別)	前第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
CVD装置	79,880	12.2	287,500	23.8	1,144,114	26.8
エッチング装置	444,479	68.1	656,880	54.3	2,343,298	54.8
洗浄装置	43,130	6.6	126,525	10.4	309,886	7.2
その他装置	—	—	—	—	—	—
その他	85,523	13.1	139,411	11.5	480,511	11.2
合計	653,013	100.0	1,210,316	100.0	4,277,810	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

2. 主な輸出地域、輸出版売高及び割合は次の通りであります。

(単位：千円)

区分 (地域別)	前第1四半期累計期間 (自平成21年8月1日 至平成21年10月31日)		当第1四半期累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)		前事業年度 (自平成21年8月1日 至平成22年7月31日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
アジア	222,981	100.0	657,397	94.2	1,803,071	95.4
北米	—	—	40,633	5.8	79,471	4.2
その他	—	—	—	—	7,843	0.4
輸出版売高合計	222,981 (34.1%)	100.0	698,030 (57.7%)	100.0	1,890,387 (44.2%)	100.0

(注) ( ) 内は総販売実績に対する輸出版売高の割合です。